



東日本大震災から12年。

迫りくる災害に対して「事前の備え」を万全に！

3月11日、東日本大震災から12年を迎えました。甚大な被害を受けた東北地方では復興が進み、少しずつ日常を取り戻しつつある一方で、未だに故郷へ帰ることが出来ない人々が多くいることや、行方不明者が2500人以上もいることも事実です。



2023年は関東大震災から100年の年！防災を考える節目の年！

ぼっぼ屋 2022.08.30 NO.022

グリーンジョブ研修 大きく変化する未来の7クジマ

福島県

TOKYO MAIL NEWS No.046 / 2022.9.1

9月1日『防災の日』
ご家庭・職場の備えは万全ですか？

地震 大雨 火山噴火
台風 津波

様々な災害・異常気象から命を守るために

- 危険箇所（落下・崩落など）の対策
- 避難経路の確認
- 備用品の準備
- 連絡体制の確立

今こそ準備！

TOKYO MAIL NEWS No.106 / 2022.11.7

今こそ、自然災害からいのちを守る行動を！

11月5日は『建物の防災の日』『世界建物の日』

11月5日は『建物の防災の日』です。2011年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの命を奪った建物倒壊が原因とされています。今年も、行方不明者が多く発生した原因の調査や、震災から10年経った2021年6月、国土の防災に関する法律が改正され、11月5日が『建物の防災の日』と定められました。また、2019年に開催された第70回建築学会年次大会で、11月5日を『建築の日』と定める決議が採択されました。

11月5日は『建物の防災の日』です。1954年11月5日に阪神大震災が発生した際に、個人（国土院）が自身の安全のために火をつけることと早期に避難を促し、避難させたことにより市民の命を救い、被災地のより良い復興に尽力した「建物の防災の日」として定められています。

TOKYO MAIL NEWS No.114 / 2022.11.15

大昔な揺れを感じましたが、震源地に驚きませんでしたか？

海沿い地震による異常震域とは？

●遠く離れた場所で揺れを感じた地震

11月14日(月)、17時9分頃、関東地方や東北地方で最大震度の2.0に揺れが広がりました。

震源地は、三浦半島沖で震度の最大は3.0、マロコニコードは6.1と推定され、津波はありませんでした。通常の地震は震源の近くであるのが一般的ですが、今回の地震は震源の遠くで揺れが広がりました。これは、海沿い地震による異常震域と呼ばれる現象です。

●地形地質の危険性

今回の地震は、関東地方の地形地質と関係しています。関東地方は、古くから海沿い地震が頻発する地域です。これは、太平洋プレートが日本列島の下に沈み込んでいることによるものです。今回の地震は、この沈み込み帯で発生した地震によるものです。

●今こそ、公共施設を守り残すための取り組みを進めよう！

日本は地震に悩まされています。プレートテクトニクスで知られるように、プレートが摩擦されていることで発生する地震は、プレートが摩擦されていることで発生する地震です。今回の地震は、この摩擦帯で発生した地震によるものです。

Think Big! No.023

11月14日 新宿支部
津波防災の日「防災の取り組み」、開催

仲間と一緒に練習、二番、三番、と解決策を考えよう!!
それが災害と向き合う第一歩です!!

今年の「防災の取り組み」は、

●今年も「防災の取り組み」を開催します

今年も「防災の取り組み」を開催します。これは、東日本大震災から10年経った今年に開催する「防災の取り組み」です。これは、東日本大震災から10年経った今年に開催する「防災の取り組み」です。

近年、異常気象による台風の巨大化や集中豪雨、土砂災害、豪雪による都市機能麻痺などにより、私たちの生活が脅かされています。今年も関東大震災から100年という節目の年です。東京地本は、首都圏の鉄道輸送を担う地本として、首都直下地震、台風や豪雨災害に基づく水害に対して、組合員と家族、乗客の命を守るために、事前防災の備えを運動としてつくり出すことを問題提起してきました。

昨年、東京都が10年ぶりに首都直下地震の被害想定を見直し、新たな課題が多く生まれています。また、近い将来必ず起きるといわれている南海トラフ地震に対しては「半割れ」による影響も指摘されており、最近NHKでもドラマが放映されるなど話題になっています。防災の日常化や率先避難者となるための訓練も求められています。

東京地本は、家庭で、職場で、そして仕事中に被災した時も想定しながら、今後も事前防災の取り組みを進めていきます。

まずは自分の身のまわりの備えを万全に！そして皆で考えよう！

- 被災した時に、どのような行動をすべきか？
- どこに避難すべきか？どこにお客さまを誘導すべきか？
- どうやって仲間を助けていくのか？